

## 第 59 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会②）

# 開催記録

### 1 開催概要

- 日時：令和7年9月3日（水）10：00～12：00
- 場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口 ホール4C
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷川 章雄氏（早稲田大学名誉教授）</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老川 慶喜氏（立教大学名誉教授）</li> <li>・古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&amp;D センター テクニカルオフィサー）</li> <li>欠 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー）</li> </ul>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁文化財第二課 史跡部門</li> <li>・東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課</li> <li>・東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課</li> <li>・港区 教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課</li> <li>・港区 街づくり支援部</li> <li>・独立行政法人 都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部</li> <li>・独立行政法人 都市再生機構 東日本都市再生本部 技術監理部</li> <li>・鉄道博物館 学芸部</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部</li> <li>・JR 東日本コンサルタンツ株式会社</li> <li>・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 建設部</li> <li>・京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 品川開発推進部</li> </ul>
事務局 京浜急行電鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 建設部</li> </ul>
サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パシフィックコンサルタンツ株式会社</li> </ul>

■ 当日配付資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料1：第58回委員会（8/6）全体会議事録案
- ・ 資料2：第58回委員会（8/6）部会②議事録案
- ・ 資料3：第58回委員会（8/6）部会③議事録案

2) 部会②

- ・ 次第
- ・ 資料1：品川駅街区北棟ビル工事に伴う品川駅高輪口交番の仮移転工事の施工について
- ・ 資料2：品川駅高輪口交番仮移転に伴う調査について

## 2 議事要旨

---

### 2.1 議事録確認

#### (1) 開会

- 第 59 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局京急)

#### (2) 議事録確認

##### 1) 第 58 回委員会 (8/6) 全体会の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

##### 2) 第 58 回委員会 (8/6) 部会②の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

##### 3) 第 58 回委員会 (8/6) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

### 2.2 部会②

#### (1) 開会

- 第 59 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会②を開会する。(委員長)

#### (2) 品川駅街区北棟ビル工事に伴う品川駅高輪口交番の仮移転工事の施工について

- 資料 1 について説明する。(事務局 JR)

##### <説明概要>

- 現交番の仮交番への移転計画である。
- 基礎となる構真柱を 2 本設置してその上に躯体を構築する。
- 山留箇所は第 49 回委員会で承認を得て記録保存調査を実施して埋戻しを完了した。今後は山留工事を実施する。
- 構真柱を設置後に T.P.-1.0m まで掘削工事を行い、その後に梁・柱・1 階躯体を構築し、2 階躯体完成後に仮交番を移転設置する。

#### (3) 品川駅高輪口交番仮移転に伴う調査について

- 資料 2 について説明する。(港区)

#### <説明概要>

- 仮交番の位置に置いて想定される遺構は埋立後の明治 30 年頃のレンガ等の構造物や排水溝等、埋立前の土取り穴等である。
- 東海道の遺構は今回は発見されないと考えている。
- 当該箇所は北棟工事に伴うトレンチ 7 で東海道護岸関係の遺構を確認した箇所の東側になる。埋立が行われた場所であり、埋立にともなう遺構が検出される可能性がある。(委員長)
- 土取り場などの遺構も検出される可能性がある。(委員長)
- これまでに同様の調査を行っているため、この結果に従い記録保存調査を前提として調査・施工を開始していきたい。(委員長)

#### (4) その他

##### <全体会・部会①・部会②・部会③終了後>

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。(委員長)
  - ← 5・6街区の委員見解については文化庁でも確認していきたい。また、第8橋梁北横仕切堤については遺構を残していただき感謝する。(文化庁)
  - ← 全体会の見解は次回以降に JR からの具体的な話があると思うので、引き続きお願いしたい。部会③は遺構に配慮いただき感謝する。(都教育)
  - ← 部会③について、京急の遺構への対応に感謝する。併せて JR の設計変更に感謝する。全体会については、これまでの議論を踏まえた委員見解に対する JR の回答を注視したい。(港区)

#### (5) 閉会

### 3 議事録

---

#### 3.1 議事録確認

##### (1) 開会

- (事務局京急) 第 59 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 資料確認
  - ・ オンラインの案内
  - ・ 次第説明

##### (2) 議事録確認

- (事務局京急) 3つの議事録について修正等の指摘はあるか。修正等があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局京急) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

#### 3.2 部会②

##### (1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

##### (2) 品川駅街区北棟ビル工事に伴う品川駅高輪口交番の仮移転工事の施工について

- (事務局 JR) 資料 1 について説明する。北棟ビル西側の山留工事を行うために、現在の品川高輪口交番を仮移転する必要がある。工事内容としては、建物の躯体を支える基礎として構真柱を 2 本構築し、掘削・躯体構築の後、その上に仮交番を設置する。第 49 回委員会で承認いただいた施工内容となるが、記録保存調査及び埋戻し済みの箇所に山留工事を行った後、基礎となる構真柱を設置し、T.P.-1.0m まで掘削工事を行う。その後に梁・柱・1 階躯体を構築し、2 階躯体完成後に仮交番を移設設置する計画である。
- (委員長) 質問、意見はあるか。
- (委員長) 今の工事計画の説明に関して、調査が必要ということなので港区から説明をお願いする。

##### (3) 品川駅高輪口交番仮移転に伴う調査について

- (港区) 資料 2 について説明する。品川駅高輪口交番仮移転工事の施工範囲において想定される遺構を説明する。第 46 回委員会でレンガ構造物が

確認されたという報告をしたが、おそらく明治 30 年頃の陸地化以降に建てられた構造物と考えている。これらの結果を踏まえ、調査の対象と想定される遺構は、埋立後の明治 30 年以降の構造物、例えばレンガ構造物、排水溝、もしくはそれ以外の建物基礎のようなものを考えている。また、埋立以前の構造物としては土取り穴等を想定している。なお、第 46 回委員会で報告している東海道関連の遺構は既に調査が終了しており、今回はそれより東側になるので東海道関連の遺構はないと想定している。現場は工事が輻輳しており文化財調査だけを行える状況ではないが、工事スケジュールに支障のないように現場の状況を踏まえ、関係する事業者等と緊密に連携をとりながら調査を進めていきたい。

(委員長) 質問、意見はあるか。

(委員長) 当該箇所は北棟工事に伴う調査（トレンチ 7）で東海道護岸関係の遺構を確認した箇所の東側になる。高輪築堤が出来た後に埋立が行われた場所であり、埋立にともなう遺構が検出される可能性がある。また、硬質粘土層を掘り下げた土取り場などの遺構も検出される可能性がある。これまでに同様の調査を行っているため、この結果に従い記録保存調査を前提として調査・施工を開始することとしたい。

(委員長) 他に何かなければ、次に進める。

#### (4) その他

(委員長) その他は何かあるか。

<全体会・部会①・部会②・部会③終了後>

(委員長) 最後に文化財行政からコメントをもらう。

(文化庁) 5・6街区の委員見解については文化庁でも確認していきたい。また、第 8 橋梁北横仕切堤については遺構を残していただき感謝する。

(都教育) 全体会の見解は次回以降に JR からの具体的な話があると思うので、引き続きお願いしたい。部会①は遺構に配慮いただき感謝する。

(港区) 部会①について、京急の遺構への対応に感謝する。併せて、JR の設計変更に感謝する。全体会については、これまでの議論を踏まえた委員見解に対する JR の回答を注視したい。

#### (5) 閉会

(委員長) 特になければ部会②を閉会し、部会③に進める。

以上